

令和五年度

# 税の百人一首

## 入選作品集

税の百人一首実行委員会

宇都宮税務行政協力会

宇都宮税務署管内租税教育推進協議会

宇都宮税務署管内国税モ二夕一會

藤本 都選

## 小学生の部

### 優秀賞

夏の日の水のせせらぎ森の中まちのオアシス作る税金

宇都宮大学共同教育学部附属小学校 三年二組 安藤 怜

### 佳作

LRT開通したようつのみや生活豊かに発揮するとき

宇都宮市立築瀬小学校 六年三組 阿久津 堅斗

## 租税教育推進協議会長賞

手に握るその十円は私達が生きる未来に役立つ投資

宇都宮市立昭和小学校

六年一組

高木 杏樹

税金は未来をになうぼく達の持続可能な社会をつくる

宇都宮市立海道小学校

六年一組

塚田 千瑛

ガソリンの値段の四割税金できっと役立つ道路や橋に

宇都宮市立姿川中央小学校

六年二組

齋藤 理玖

税金の使い道を見える化しみんなでつくる明るい未来

宇都宮市立豊郷南小学校

六年一組

渡邊 和希

災害時みんなの支えがかぎとなる少しの力で変えられる未来

宇都宮市立豊郷中央小学校

六年四組

瀧澤 真央

## 国税モニター会長賞

何かを守りだれかを助ける税金は未来の日本をつくつてる

宇都宮市立豊郷中央小学校

六年四組

池亀 楓

こつこつとくらしの中からおすそわけ未来を守る財産になる

上三川町立上三川小学校

六年一組

谷野 有希実

デジタル税ソーダ税やポテチ税世界の税金奥深い

宇都宮市立明保小学校

五年二組

齋藤 孝太

税金はいつか自分にかえされるその日のためにコツコツはらう

宇都宮市立豊郷中央小学校

六年三組

篠原 綜慈

## 税務署長賞

調べようどんな税金あるのかなゆたかな未来みんなで作ろう

宇都宮市立篠井小学校

六年一組

小林 心美

税金は人のねがいを受けとめて実現させる未来のかたち

上三川町立明治小学校

六年一組

山本 渉

消費税ばかりもできる納税は未来をつくる資金になるよ

宇都宮市立国本西小学校

六年一組

渡邊 千樹

税金はきらわれ者でいやだけどみんなのためにおさめる思い

上三川町立本郷小学校

六年一組

小川 愛莉

# 中学生の部

## 優秀賞

税金はぼくらの街のエネルギー納めて創ろう輝く雷都

宇都宮市立旭中学校

一年四組

鈴木 鳳生

## 佳作

税金の深くは知らない使い道教えて先生使って福祉に

宇都宮市立横川中学校

三年一組

高山 結帆

租税教育推進協議会長賞

子育てで忙しい母 e・Tax 家族寝たあとスマホで申告

宇都宮市立旭中学校

一年一組

笹沼 里帆

税金を納めて芽生える希望の木納めて育つ明るい未来

上三川町立明治中学校

三年二組

稲見 到真

防衛費日本を守る命綱それが無くなる世界を目指せ

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校

一年A組

平野 利征

消費税ぼくができる近道納税便利な豊かなくらしささえよう

上三川町立上三川中学校

二年三組

星野 莉仁

# 国税モニター会長賞

世に映る幾千幾万幾億の営みの元税の源

宇都宮短期大学附属中学校

二年一組

澈 格 麗

己の手で現代未来の人々に役立つ支援が実行できる

宇都宮短期大学附属中学校

一年二組

西田 真 柳

理解することが大切インボイス知識と理解あなたを救う

宇都宮市立陽東中学校

二年五組

上野 楓 真

値上げして買いづらくなる旬のもの今年はサンマ食べられるかな

宇都宮市立横川中学校

三年二組

岡本 奏 夢



## 税務署長賞

毎日の安心を買おう税金で笑顔あふれる暮らしのため

宇都宮市立一条中学校

二年四組

磯里実花

税金でやしなわれてるわたしたち大事に使おう国民のお金

宇都宮市立豊郷中学校

一年三組

土井正宗

税金で今年も補助金ありがとう早々に打ったインフルエンザ

宇都宮市立旭中学校

一年三組

黒崎健太

税金は笑顔に変わる交換券一人一人がつくるふるさと

上三川町立本郷中学校

二年A組

岩田元輝

# 高校生 の 部

## 優秀賞

税金は気軽にできる貢献だ社会に活かそうワンフォーオール

宇都宮短期大学附属高等学校

二年三組

居上 慶大

## 佳作

日本の希望をつめた貯金箱皆で貯めよう未来のために

宇都宮短期大学附属高等学校

一年二組

塩田 星瑠

弥生から今なお続く税制度みんなに届く安心安全

宇都宮短期大学附属高等学校

二年三組

大川 綾乃

社会人の部

優秀賞

インボイス増税・減税渦巻くも未来のチヨイス（選択）悔いなきものに

宇都宮市

大毛 孝洋

佳作

万民の生活支える税制度生命が躍る国が栄える

宇都宮市

池田 光弘

## 宇都宮と小倉百人一首

小倉百人一首は、藤原定家が昔からの名歌を百首選んだ作品として有名で、最も広く読まれ、親しまれてきた古典でもある。

この百人一首は、藤原定家と宇都宮の殿様（五代城主宇都宮頼綱）との交遊から誕生したと言われている。

当時、宇都宮から京都へ移り住んだ五代城主宇都宮頼綱（出家して蓮生入道と名乗る。）が、藤原定家と親しく交際していた関係で、藤原定家の息子（為家）と蓮生入道の娘が結婚し、親戚関係となった。

当時の文化として、和歌を書いた色紙をふすまに貼ることが流行だったので、蓮生入道は、昔からの名歌百首を選び染筆した色紙和歌をプレゼントするよう藤原定家に頼んだ。この色紙和歌が、百人一首の原型となったものである。

定家の別荘は、京都の小倉山麓にあつたことから、『小倉百人一首』と呼ばれるようになったと言われている。

また、頼綱をはじめとする当時の宇都宮一族は、和歌への造詣が深く、宇都宮は京都、鎌倉とならび、全国三歌壇の一つと称されていた。

## 税の百人一首実行委員会

- 構成団体 宇都宮税務行政協力会  
宇都宮税務署管内租税教育推進協議会  
宇都宮税務署管内国税モニター会

### 各団体の概要

#### 1 宇都宮税務行政協力会

次の9団体が会員相互に連携協調し、税務知識の普及と納税思想の高揚を図り、税務行政の円滑なる運営に協力することを目的として設立された。

- ・ 関東信越税理士会 宇都宮支部
- ・ 宇都宮税務署管内納税貯蓄組合連合会
- ・ 宇都宮税務署管内青色申告会連合会
- ・ 宇都宮商工会議所
- ・ 公益社団法人 宇都宮法人会
- ・ 宇都宮間税会
- ・ 栃木県酒造組合 宇都宮支部
- ・ 栃木県卸酒販組合
- ・ 宇都宮小売酒販組合

#### 2 宇都宮税務署管内租税教育推進協議会

教育及び税務関係者並びに関係団体が協力して、児童生徒及び一般社会人を対象とする租税教育の推進及び租税教育の充実のための環境整備を行うことを目的として宇都宮市教育委員会教育長を会長として設立された。

#### 3 宇都宮税務署管内国税モニター会

納税者と税務署の間において、納税者の公正な意見、要望等を税務当局に具申し、適正公正な税務行政の推進に寄与するとともに、会員相互の啓発と協調を通じて広く納税道義の高揚と税知識の普及に努めることを目的として設立された。